

1 しむ

基本形	しむ
活用の型	下二段型
未然形	しめ
連用形	しめ
終止形	しむ
連体形	しむる
已然形	しむれ
命令形	しめよ

【解答】 (1)、(2)は左の活用表を参照。

(3) **喜ばせる**

<古文> 人の目をよるこぼしむる楽しみ、またあぢきなし
 <現代文> 人の目を喜ばせる楽しみも、またおもしろくない

【主な意味と用法】

- ・ 尊敬
「～なさる」
- ・ 使役
「～させる」

公も行幸せしめ給ふ
 (天皇も行幸なさる)
 涙を流し心を痛ましむ
 (涙を流して心を痛ませた)

2 まほし

基本形	まほし
活用の型	形容詞型
未然形	まほしく まほしから
連用形	まほしく まほしかり
終止形	まほし
連体形	まほしき まほしかる
已然形	まほしけれ
命令形	○

【解答】 (4)、(5)は左の活用表を参照。

(6) **見たい**

<古文> 見まほしく思す
 <現代文> 見たいと思う

【主な意味と用法】

- ・ 願望
「～したい」

案内しに参らせまほしけれど
 (問い合わせをしに参上したいけれど)



【アプリ版のご紹介】中高生の古文

古文の単語・文法アプリの決定版！単語編では、最頻出の272単語を、「朝廷・貴族」「尊敬語」などの記憶に残りやすいカテゴリに分けて出題。文法編では、用言と助動詞の活用・接続・意味を徹底学習します。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の漢文

次の白文の、下線部の読み方は？ 百聞不如一見
 (A) なさず (B) しかず (C) べからず (D) ならず